



7月2日(金)

▶9月12日(日)

# 大田区立 勝海舟記念館

Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

■開館時間 午前10時～午後6時

※月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始を除く  
6月28日(月)～7月1日(木)は展示替えのため休館

■入館料 一般300円、小中学生100円(各種割引有り)

■所在地 東京都大田区南千束2-3-1

■電話 03-6425-7608

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限や、人数制限をしております。最新の情報は、区ホームページをご覧ください。



# 海舟だより

第10号

## ■勝海舟記念館 企画展 「所用品から見る海舟の姿」

2021年7月2日(金)～9月12日(日)

勝海舟は幕末～明治を通じ、仕事や趣味など様々な活動をしていました。本展では、海舟が着用していた袴や仕事道具、自ら手掛けた器など、今に伝わる所用品を展示します。これらの品々には時代の変化だけでなく、海舟の生き生きと活動する姿や趣味嗜好などを感じさせる情報が見え隠れしています。所用品を通して、等身大の海舟を身近に感じてみてください。



勝海舟染付  
茶碗「萬壽」

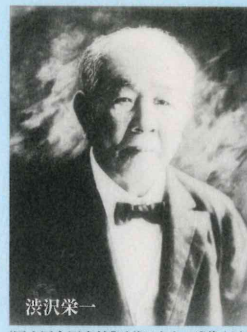


袴(肩衣)

## 学芸コラム

### 海舟の葬儀に参列した渋沢栄一

現在放送中の大河ドラマ「青天を衝け」の主人公・渋沢栄一。渋沢は、明治初年に東京神田にあった静岡藩の出張所で海舟に接し、「大勢に明かな人である、手腕のある人であると思った」とその印象を後年回想しています。両者は、維新後の徳川慶喜の処遇については考え方が異なっていたようですが、どちらも徳川家の将来を考え続けていました。明治32年1月25日に東京青山で行われた海舟の葬儀に、渋沢が参列していたことが、館蔵「葬儀及家督記録第三冊目録」からわかりました。海舟の死を見届けた渋沢は、海舟と初めて会った頃を懐かしく思い出していたかもしれません。(学芸員:上符)



渋沢栄一  
(国立国会図書館「近代日本人の肖像」より)

### 記念館前庭に公園がオープンしました!

勝海舟記念館の前庭に当たる場所は、大正末期以降、勝海舟の別荘「洗足軒」が移築されていた場所です。前庭には海舟ゆかりの樹木であるモミジやツバキを植樹しています。

ベンチや水飲み場もありますので、ゆっくりお過ごしください。  
※開門時間は記念館に準じます。



区ホームページでは、記念館周辺の見所もご案内しています。

## #おおた夏のミュージアムめぐり

各館展示開始日～8月31日まで(龍子記念館は8/15まで)



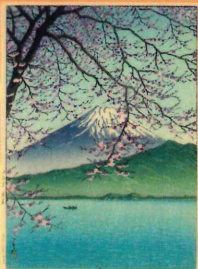
勝海舟記念館のほか以下3館をめぐっていただいた方に先着で記念品をお渡します。詳細は各館へホームページへ!



イベントページ  
はこちら

### 郷土博物館

特別展「川瀬巴水  
-版画で旅する日本の風景-」  
7月17日(土)～9月20日(月・祝)



※8/16～18は  
展示替えのため  
休館



「西伊豆 木負」

### 龍子記念館

企画展  
葛飾北斎「富嶽三十六景」  
×川端龍子の会場芸術  
7月17日(土)～8月15日(日)



葛飾北斎  
富嶽三十六景《神奈川沖浪裏》



### 大森 海苔のふるさと館

写真展  
「東京オリンピックに沸いた  
あの頃の海辺」  
7月20日(火)～11月14日(日)



大森の河岸の海苔干場  
昭和38年1月撮影

※7/17～18に  
プレ展示あり



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コンテンツの利用制限を行っています。最新の開館情報などは、区ホームページや公式ツイッターをご覧ください。



公式ツイッター



ホームページ

発行:大田区立勝海舟記念館  
令和3年6月発行